

水戸市農業委員会だより

令和6年10月発行
第205号
発行所
水戸市農業委員会事務局
水戸市中央1丁目4番1号
☎ 224-1111 (内線 6412)
年4回発行



農業ヘルパーの多くは、60～70代の方です。農家の要望に添えるため、毎月一回、水戸市ふるさと農場において、農作業実技研修を受け、基本的な農作業や収穫等について学んでいます。(写真は研修の様子)

ヘルパーが担う主な仕事内容は、種まきや収穫、袋詰め作業などです。事故防止の観点から機械作業は行わず、手作業が中心となるそうです。雇用期間については、農家が希望する期間で数日から数か月まで幅広く設定可能です。

担当者の方は、「農家さんにとって収穫最盛期は、午前中にどれだけ収穫し、出荷できる状態にするかが勝負だ」と言っており、農家の方々は、「繁忙期にあわせて人手が欲しい」という要望が高まっているそうです。

農業ヘルパーが活躍しています

す。

実際に、繁忙期の収穫や梱包作業のために、同じ農家の方から何度もヘルパーを依頼される例があるとのこと。

労力が不足しがちな繁忙期などに臨時雇用を考えている農家の方がいらつしましたら、ぜひ農業ヘルパーセンターにご相談ください。

「お問合せ先」
一般財団法人水戸市農業公社内
農業ヘルパーセンター

☎ 2551・5532

目次

- 農業ヘルパーが活躍しています..... (1頁)
- 農地転用には手続が必要です..... (2頁)
- 野焼きに注意しましょう..... (2頁)
- 稲わら・籾がらは有効活用をご検討ください..... (2頁)
- 農作業でトラクター等を使用する皆様へ..... (2頁)
- 農業に使用する軽油引取税の免税制度について..... (3頁)
- 個人で市民農園を開設できます..... (3頁)
- 農地利用意向調査の実施について..... (4頁)
- 農地利用最適化推進委員を委嘱いたしました..... (4頁)
- ドローンで効率的な水稲栽培を行っています..... (4頁)
- 気になる!!「全国ねぎサミット2024 in みと」..... (4頁)
- 農業委員会活動報告..... (4頁)
- 委員のひとこと..... (4頁)

農地利用意向調査の実施について

農業委員会では、毎年、農地の規定に基づき、農地の利用状況調査（農地パトロール）を実施し、耕作放棄地や遊休農地の発生防止に取り組んでおります。また、その調査結果をもとに、遊休農地の所有者等に対し、将来的な農地利用の意向を確認するための「利用意向調査」を実施しております。

利用意向調査書が届いた方は、今後の利用意向（「農地中間管理機構に農地を貸し付けた」、「耕作を再開したい」、「自ら農地の受け手を探して農地を売りたい」など）を明記の上、必要事項を記入し、提出期限までに回答をお願いいたします。

大切な農地を守るための調査となりますので、ご協力をお願いいたします。

※この調査と入れ違いで、耕作を再開された場合は、ご容赦ください。

《お問合せ先》

農業委員会事務局農政係

☎ 224・1111

(内線 6421)

ドローンで効率的な水稲栽培を行っています

いばらき県中央地域スマート農業推進協議会では、5月に、水戸市、笠間市、茨城町のほ場で、ドローンを活用した水稲直播を行いました。リゾケアという特殊なコーティングがされた種子を直播後、ドローンによる除草剤散布等を行った他は従来の移植栽培と同様の方法で管理をしています。各ほ場で有効茎数に差はあるものの、それぞれ順調に生育しています。詳細については、市農産振興課のHPまで。



《お問合せ先》農産振興課 ブランド推進係 ☎ 259-2212



【中部地区（緑岡地区）】
佐藤 力也

令和6年8月1日に緑岡地区の農地利用最適化推進委員として、新しく佐藤力也推進委員を委嘱いたしました。よろしくお願いいたします。

農地利用最適化推進委員を委嘱いたしました

気になる!!今月号のテーマ「全国ねぎサミット2024 in みと」

- ねぎ産地ブース出展 : 全国のブランドねぎの販売や調理販売等
- グルメブース出展 : キッチンカーによる水戸の柔甘(やわらか)ねぎグルメの販売等
- ステージイベント : 特別ゲストによるステージトーク、市民ステージ、各産地のねぎ等が当たる産地PR大会

【日時】令和6年11月30日(土) 10:00～16:00、12月1日(日) 10:00～15:00

【場所】市民会館やぐら広場、芸術館通り、水戸芸術館広場

《お問合せ先》 全国ねぎサミットinみと 実行委員会事務局(農産振興課内) ☎259-2212

農業委員会活動報告 7月～9月

- 7月 (金)
第12回運営委員会
- 5日 (金)
第13回総会
- 16・19・25日
農地利用最適化推進協議会
西部・中部・東部地区連絡会
- 30日 (火)
いばらき農業委員会女性協議会総会
- 8月 (金)
第13回運営委員会
- 9日 (金)
第14回総会
- 20・26日
農地利用最適化推進協議会
中部・東部地区連絡会
- ※西部地区連絡会は台風で中止
- 9月 (木)
第14回運営委員会
- 13日 (金)
第15回総会
- 17・20・25日
農地利用最適化推進協議会
西部・中部・東部地区連絡会

委員のひらめき

「ダーチャ」というものがあります。ロシアにおける菜園付き別荘のことです。「都市部の住民が郊外に家を建てて休暇を過ごし、菜園で食料を作る」という文化の様です。

先の大戦時、「食糧不足になった際、庭を耕作して食糧を作った」との報道等を耳にする事があります。食糧が困窮すると「作る」という行動になるのかと思います。その為には、耕作できる土地が必要となります。

近年、異常気象・地震等による災害が目立っています。そのような中でも、水戸市は被害が少ない地域とされています。都市部で大災害が発生した場合、この地が避難者を受け入れることができるれば、社会に貢献できると思います。上野駅から茨城県庁までは約100km。決して遠い距離ではないと思います。

つまり、この地が避難するだけでなく菜園地として活用できる場所と認識されることを望んでいます。その為が私を取り組むことは、荒れた遊休農地を耕作できる土地へ戻し、維持する保全策と考えています。

(推進委員 佐川 則夫)

